

荻 窪 小 学 校

読書の幅を広げ、知る・調べる楽しさを支える荻小図書館

今の学校図書館

学校の中心に位置し、ほぼ学年差なく利用している。
地域ボランティアの活動に支えられながら、図書委員会児童が読書週間のみでなく休み時間も運営の軸となっており、書架整理と来館者への声かけに力を入れている。
探究学習利用は、図書館の空き時間もないため、ブックトラックによる資料の教室利用に留まることが多い。



学校図書館の運営

学校図書館運営委員会を通じ、課題を共有、周知し児童や教育の変化に応じて効果的に対応していく。

1年間の主な活動

- ＜通年＞・ボランティア「ちいさいおうち」による読み聞かせ（朝読書時）、お話会（授業時間）
- ・読書記録（卒業まで学校保存）
- ・図書館ボランティアによる本修理などの本装備
- ＜1学期＞・オリエンテーション（各クラス2時間）
- ＜1.2学期＞・児童の本紹介カードを南荻窪図書館へ展示、南荻窪図書館員のブックトーク（読書週間）
- ・蔵書点検（ボランティア・学校支援本部・学校司書／年1回）

特色ある取組



読み聞かせと飾りつけのボランティアがあり、熱心で安定した活動で彩りを加えている。また、ボランティアのブックカーかけや修理に書架環境を支えられている。

これからの学校図書館

- ・構成比を意識した買い替えなどにより、基準に近づいているが、文学を除籍し、0・1・7類の購入を進める。
- ・物語の楽しさに気づき、読書を習慣化することにより、読書力・思考力・想像力を育む。全学年への推薦図書を用い、卒業までに主な児童書を読む環境を作る。
- ・図書委員の活動意欲を維持できるよう、環境整備する。